

「イキます！」

（ゆくっ、びゆるっ）

い♡びゆるっびゆる♡

山さんは我慢の限界を

越えていたかのように、

と深く下ろし、僕のものを

しっかりと包み込む。



あの日から、寝ても覚めても犬山さんのオマンコのことを考えている。

思い浮かべて毎日オナニーしたかったが我慢して、我慢して3日たった。

精液は3日で満タンになるらしい。

僕は意を決して彼女に話しかけた。

「きよ、今日はセックスさせて下さい！」

「……ええけど、今日はナマの用意してないんよ。ゴムハメでもええ？」

一瞬迷ったが、もう我慢できそうになかった。上ずった声で了承し、

あのトイレの個室に2人で入る。

彼女に言われるがまま服を脱ぎ、

全裸で便座に座った。

ふふっ、もうピンピンちゃん♡
それじゃあゴムつけるで♡

そう言うと彼女は慣れた手付きで
コンドームを付けてくれた。



これでよしっ♡
あはは、そんなに緊張せん
でも大丈夫やって♡

しどろもどろで犬山さんに
初めてだと伝える。

ああ、やっぱり初めてなんや♡
ふうん、そっかそっか♡
じやあ今日は私が動くから
きもちよく童貞卒業しよう
なあ♡

彼女はスカートと下着を脱ぎ
事もなげに僕の上に座った。



よいしょっと♡(ぬぷぷ…♡)

すんなりと僕のものが
犬山さんの中に入り
込んだ。

暖かく包み込まれるような感覚、
彼女の体温が感じられて
とても心地よかった。



犬山さんがゆっくりと
腰を動かし始める。

（ぬっちゅっ♡ぬっちゅっ♡）

いやらしい水音をたてながら
ひだがねっとり絡み
ついてくる。

ふふっ♡気持ちええ？
初めてのおまんこ
じっくり楽しんでなあ♡

犬山さんの動きが

少しずつ早くなってくる。

♡(づちゅっ♡づちゅっ♡)

「あっもう…」

情けない声が漏れる。

え〜、もうイきそうなん？

せっかくの初めてやのに

すぐ出したらもったいないで〜♡



ほら、がまんがまん♡
我慢したらもっとな
きもちええで♡

我慢という言葉とは裏腹に
犬山さんはどんどん動きを
激しくしていく。
彼女のおまんこに早く射精しろと
搾り取られるようだった。



数分もしないうちに限界がきた。

「い、イキます!」
(びゅくっ、びゅるっ)

はあい♡びゅっびゅ♡

犬山さんは我慢の限界を
悟っていたかのように、
腰を深く下ろし、僕のものを
膣でしっかり包み込む。

ふふっ♡
まだピクンピクン出てるわぁ♡

彼女は射精し終わるまで
優しく目を合わせてくれていた。

はあい♡お疲れさん♡
これで童貞卒業やね♡
おめでとう♡

数日前まで憧れのクラスメイト
だった犬山さんの笑顔が前より
なんだか身近に
感じられた。

